

令和 8 年 7 月 31 日

設 計 図 書 等 に 対 す る 回 答 書

鹿屋市長 郷原 拓男

次の工事案件について、以下のとおり回答します。

質問対象工事案件

工 事 番 号	鹿道第 245 号	※ 市のホームページに掲載してある 「工事発注表」に記載してあります。
工 事 名	見取山線外防護柵修繕工事(R8)	
工 事 場 所	鹿屋市 北田町 外	

質問事項について、次のとおり回答します。

番号	質 問 事 項	設計図等	回 答
1	積算単価根拠表では、S8402 横断防止柵（コンクリート建込）で 3 段ビームと 4 段ビームがありますが、設計図の数量総括表では、横断防止柵（コンクリート建込）ビーム式 3 段と転落防止柵（土中建込）ビーム式 4 段となっています。 単価選択をどのようにすればよいかご教示願います。	積算単価 根拠表 P1 設計図 P2	積算単価根拠表の 2 段目に記載のある「S8402 横断防止柵(コンクリート建込)2.3×42.7×3000(4 段ビーム型)」は、「S8402 転落防止柵(土中建込)2.3×42.7×3000(4 段ビーム型)」の誤りです。 田崎市役所線においては、設計図の数量総括表及び閲覧設計書の防止柵工[田崎市役所線]に記載のあるとおり、「転落防止柵（土中建込・4 段ビーム型）」の物価資料掲載単価を平均し、端数処理（上位 3 桁有効 4 桁目切り捨て）を行った単価を設計単価として積算しています。 なお、他路線（見取山線、田淵永吉線）における横断防止柵については、積算単価表の 1 段目、設計図の数量総括表、閲覧設計書に記載のあるとおり、「横断防止柵（コンクリート建込・3 段ビーム型）」の物価資料掲載単価を平均し、端数処理（上位 3 桁有効 4 桁目切り捨て）を行った単価を設計単価として積算しています。